

都市計画道路を考える 小金井市民の会

第48号 2020年3月5日
発行 都市計画道路を考える
小金井市民の会
連絡先 電話090-7847-3968 (事務局:阿部)

「3・4・11号線に関するオープンハウス」(展示説明会)開催 東京都は、自然環境破壊・住民追い出し・交通量低減に触れず

都は道路の必要性に関する意見交換を拒否したまま開催へ

東京都は、2月21日、22日、23日宮地楽器ホール1階で「3・4・11号線に関するオープンハウス」を開催しました。

会場には説明用のパネルと道路「完成時」の立体模型を展示し、多くの市民が訪れました。

パネルには交通量や大規模火災時対応、「抜け道対策」などについて揭示していましたが、「一万三千台の交通量おかしい」「緊急医療施設への到達時間短縮の数字の根拠は？」などの

質問に答えられない場面が多く、「後日返答します」日取り換えた写真も。

意見交換の場では都の姿勢に批判続出

オープンハウスは、4回の意見交換の場が設けられたが、参加者から、「延焼遮断効果のためというが、すぐ近くに西武線とその両側の道路で、十分効果があるのでは」「都市計画道路として決定したというが、官報に記載しているだけで、大臣が決裁したという書類ではない」「環境調査をして、はげと野川の自然に重大な影響があるとなったら、中止するのか」など、多くの質問や意見がだされたが、都の担当者から、まともな回答は示されませんでした。

写真は上から、意見交換の場、展示スペース、立体模型



はげと野川、武蔵野公園、地域コミュニティを分断する
本当に必要?!都市計画道路
東京都は環状のない都市計画道路 小金井3・4・11号線および3・4・11号線の整備を住民生活の不安を軽減しようとしています。道路の必要性について「広域的な道路ネットワークの形成」「周辺道路の渋滞緩和」「良好な住環境の確保」「地域の防災性強化」をあげていますが、その内容には大きな疑問が残ります。詳細は次のページに...

計画の概要
[3・4・11号線] 延長2050m 幅員16m [3・4・11号線] 延長830m 幅員18m

オープンハウスに向けてチラシ配布
道路市民の会は、はげの自然と文化をまもる会と共同して、チラシを作成し、ポスティングや新聞折り込みを行いました。

道路市民の会の会費納入のお願い

年会費 1,000円

<振込先>

■ゆうちょ銀行

■口座 記号番号

10150-95588471

■口座名義

トシケイカクドウロカカンガエルコガネイシミンノカイ

2019年度会費未納の方
お願いします
世話人の方などに直接
お渡ししてもかまいません

「市民の会」のホームページ ⇒ [小金井道路市民の会](https://koganeiroad.jimdo.com/)

<https://koganeiroad.jimdo.com/>

「市民の会」のフェイスブック ⇒ [都市計画道路を考える小金井市民の会](#)

小金井市 優先整備2路線のアンケート配布

小金井市は2月下旬に、市内の有権者3000人に3・4・1号線と3・4・11号線についてアンケートを送りました。アンケートには目的や経過などと3枚の地図が同封されています。西岡市長は市議会で、アンケートの回答について「今後の私なり、小金井の市政において重要な市民の声ということで判断されるべきものだと考えています」と答弁しています。

この設問で判断する材料となるのでしょうか。

都市計画道路（優先整備路線の2路線）のアンケートについて

都市計画道路についてお聞きします。別冊の【参考資料】を参照していただき、以下の設問に回答してください。

Q1：優先整備路線の2路線について、ご存じでしたか。どちらかに○をつけてください。
（ 知っていた ・ 知らなかった ）

Q2：2路線を整備することについてどう思いますか。そう思う項目にチェック☑を入れてください。（複数選択可）

設問		3・4・11号線 (資料②) そう思う	3・4・11号線 (資料③) そう思う
1	道路の広域ネットワークが形成され、緊急車両（救急車・消防車）の到着時間や市外の救命救急センターへの到着時間が短縮される。【資料①】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	国分寺崖線（はげ）等の既存の自然や文化財が失われる。【資料②、資料③】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	都立公園（小金井公園、野川公園、武蔵野公園）の日常の利用がしやすくなるとともに、災害時に避難場所（公園、学校等）へのアクセスが向上する。【資料①】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	既存道路の拡幅ではないため、道路整備に莫大な費用と時間がかかる（費用は東京都が全額負担）。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	車道と歩道を分離することで、安全に歩行（車いす・点字ブロックの設置）することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	工事中、長期間にわたり騒音や振動が増え、通行時の危険箇所が増える。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	狭い道路を抜け道として使う自動車が減り、交通事故の危険性が少なくなる。【資料③】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	昔からの街並み、武蔵野公園や野川周辺（ムジナ坂やはげの小路など）の景観が変わる。【資料②】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	電線等の地中化により、街並みが整理され、日常生活に必要な店舗等が建てられるようになる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	道路建設によって住民の立ち退きや、町会や自治会などの既存の地域のコミュニティが分断される。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	小金井街道や新小金井街道の渋滞が緩和されることにより、二酸化炭素排出量が削減され、地球温暖化防止に貢献できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	大型車両が通行可能となり周辺への騒音や振動が発生する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	都市計画道路が完成することで大規模火災時の被害拡大防止となる延焼遮断帯（都が指定）が形成できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	道路建設によって、国分寺崖線（はげ）や湧水、野川のような多様な生態系に影響を及ぼす。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	自由記入欄		

「あの街この道見て歩き」 閑静な住宅街一世田谷26号線

道路問題東京連絡会が、都内の問題となっている都市計画道路を見て歩こうと始めた第1回が、世田谷の26号線。すでに工事が行われている三宿地区と、住民が頑張っている代沢地区を歩きました。

★次回は、4月18日（土）午後1時
立川3・3・30号線です



代沢地区で住民が段ボールに書き出したポスター

<前回の世話人会以降の活動経過>

- 2月6日 第48回世話人会
- 2月13日 第2回オープンハウス対策会議
(はげ文と共同で)
(2月14日 第1回マスタープラン策定委員会
委員に優先整備路線アンケート提示)
- 2月14日以降 オープンハウス向けチラシのポスティング・新聞折り込み（一部地域）
- 2月21・22・23日 東京都が「3・4・11号線に関するオープンハウス」を開催
同 武蔵小金井駅南口でチラシ配布
- 2月26日 道路連絡会で世田谷26号線見て歩き
- 2月27日 3・4・11住民の会世話人会
- 3月5日 第49回世話人会

<今後の日程>

- 3月26日 多摩地区道路問題連絡会
- 4月2日 第50回世話人会
- <他地域の裁判・集会など>
- 3月25日11時30分 羽村駅西口区画整理裁判控訴審
(809号法廷)
- 4月18日 13時 あの街この道見て歩き（立川3・3・30号線）モノレール泉体育館集合
- 4月20日14時 大山26号線裁判
- 4月27日11時30分 外環道青梅街道IC裁判（522号法廷）
- 5月11日14時30分 十条再開発裁判（103号法廷）
- 5月15日14時 志茂86号裁判控訴審（101号法廷）
- 5月23日13時 あの街この道見て歩き（環状4号線）
- 5月27日14時 東京外環道訴訟（103号法廷）